

【幼保小連携通信】

保育課・学校教育課
幼保小連携担当

夢に向かって挑戦する子ども

令和8年度
8月31日 No.5

幼保小連携の取組をご紹介します

小・中学校の夏休み期間や県の新規事業を利用して、様々な幼保小中連携の取組が行われました

【大野台中央小学校 幼保小連携研修】

学校教育課指導主事を講師として、市内で行われている幼保小連携の工夫、「幼児教育と小学校教育がつながるとは？」について学び、これから活かしていきたいこと等について考えました。

1年生の担任や担当者だけでなく、全教職員で学ぶことにより、組織的な対応や学校全体の理解の深まりによる持続可能な幼保小連携につながります。



キーワードは「遊びや学びの深まり」

【作の口小学校 保育体験】

作の口小学校では、全教職員が連携園での保育体験をしています。おくどりこども園では、保育体験前に園長によるオリエンテーション、体験後に振り返りを行いました。実際に見た子どもの姿を語る、疑問や気になることを伝えることで、園で大切にしていることが分かったり、これから園で体験しておきたいことに気づいたり、お互いに教育保育を考えるきっかけとなったようです。



毎年、生活科部会は希望する園の先生方も多く参加し、お互いの学びを知る、考えることができる機会となっています。今年度は「おもちゃづくり単元における主体的な学びの育成」をテーマに、児童が活動に深く没入する状態を意図的に生み出すことで、非認知能力を最大限に引き出し、その変容を可視化することを目指した取組発表を受け、生活科の授業づくりや園での遊びを通した学び等についてグループ協議をしました。次年度は公立認定こども園が取組を提案する予定です。

【相模原市小・中学校等教育課程研究会】

毎年、生活科部会は希望する園の先生方も多く参加し、お互いの学びを知る、考えることができる機会となっています。今年度は「おもちゃづくり単元における主体的な学びの育成」をテーマに、児童が活動に深く没入する状態を意図的に生み出すことで、非認知能力を最大限に引き出し、その変容を可視化することを目指した取組発表を受け、生活科の授業づくりや園での遊びを通した学び等についてグループ協議をしました。次年度は公立認定こども園が取組を提案する予定です。

【相模湖こども園 公開保育・協議会】

北相中学校区では、相模湖こども園での保育参観・協議会を毎年行い、幼保小中連携に取り組んでいます。今年度は連携校の他に、近隣の内郷小学校も参加し、30人以上の先生方と子どもの学びと育ちを考えました。0歳～18歳までの学びを見通し、学びの連続性・一貫性を図ることが求められています。



【新磯保育園・認定こども園すこやか 幼児教育アドバイザー兼架け橋コーディネーター相談支援】

園校の依頼に応じて研修を行い、教育・保育の充実をめざす神奈川県架け橋センターによる新規事業を活用し、2園がそれぞれ園内オンライン研修を行いました。

新磯保育園では、公開保育・協議会も行い、新磯小学校の先生も参加し、園の保育と小学校教育のつながりについて考えました。

